

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	公益財団法人鎮守の森のプロジェクト
活動タイトル	第11回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭
活動地域	福島県南相馬市原町区北泉地区



5月中旬～下旬 植樹基盤の整備

### 【活動の目的・目標】

今回我々が植樹する南相馬市の海岸林の構成樹種は土地本来の樹種で、3年経過すれば管理が不要となる。しかし沿岸は海と人との接点で有り、その意味では南相馬市民にとっては里山とも言える。

山との接点としての里山も海との接点としての海岸林も、どちらも市民の手によって維持管理されるものと考え、地域の人々の連携の象徴と考えている。このことが南相馬市市民、特に若い人たちの心に伝えることが出来ることを目指して活動を進める。



6月11日（日）植樹祭開会式

### 【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

宮脇式植樹方法では、最後に植樹した面山タイに4kg/m<sup>2</sup>の藁を敷くことになっているが、近年わらが全国的に不足しており、今回も不足した。その為、代替品として20kgの切り藁で不足分を補った。

切り藁を固定するためには、どうしても藁が必要であったが、昨年まで蓄積しておいた藁で補った。

今後、藁不足の問題解決に対策を取らねばならないと考えている



6月11日（日）植樹風景

### 【活動の内容・成果】

開催回数：1回

参加人数：1,200人

達成率：90%

- |   |         |                  |        |         |
|---|---------|------------------|--------|---------|
| ① | 6/7     | 柴田農林・川崎小         | 30人    | 300本    |
| ② | 6/24・25 | 小山グループ           | 40人    | 1,000本  |
| ③ | 6/25    | トーヨータイヤ          | 80人    | 1,000本  |
| ④ | 6/11    | 第11回南相馬鎮江復興市民植樹祭 | 1,200人 | 22,000本 |
| ⑤ | 7/15    | 第2回宮脇昭記念植樹祭      | 80人    | 2,000本  |
| ⑥ | 9/22    | CTS植樹祭           | 40人    | 500本    |
| ⑦ | 9/30    | 関東大震災100年防災の森造り  | 100人   | 2,000本  |

上記合計 1,500人のボランティアで22,800本の苗木を植樹。(岩沼市・南相馬市)

秋に予定していた三重県明和町の植樹3,000本は植樹地の問題が有り中止となった。

### 【団体概要】

2013年より毎年宮城県岩沼市「千年希望の丘」福島県南相馬市の「市民植樹祭」をはじめ仙台市・山田町などで植樹活動を実施した。

2016年に現在の名称に変更し「災害からのちを守る森づくり」として活動範囲を全国に広げ、大阪府・三重県・高知県において活動を展開している。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



6月24日（日）企業植樹  
トヨータイヤ仙台工場労組 81名 参加  
「岩沼市千年希望の丘二ノ倉」において  
1000本の植樹  
写真は開会式風景



7月上旬  
7月15日・16日 宮脇記念植樹及び  
9月20日・10月1日 関東大震災100年  
防災の森づくり 4,000本植樹の基盤整備



7月15日・16日  
第二回 宮脇昭記念植樹 植樹風景  
宮脇昭（横浜国大名誉教授）は2021年7月16日に逝去。財団は副理事長として貢献した宮脇博士を記念して、第1回は昨年岩沼市の「千年希望の丘」で行い、今回は第2回目として南相馬市小高区塚原で行った。



9月30日・10月1日  
関東大震災100年防災の森づくり  
財団主催初めてのイベント。  
本年は関東大震災から100年の年  
「自然災害からいのちを守る森」づくりを進めている当財団が主催  
来年からは9月1日に実施予定